大阪府感染症発生動向調査週報 (速報) 2020年第35週(8月24日~8月30日)

今週のコメント

~ヘルパンギーナ~ 手洗いが重要

定点把握感染症

「ヘルパンギーナ 増加」

第35週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比3.0%増の718例であった。昨年同時期と比べて71.1%減(2019年 第35週2,485例)と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.95、0.48、0.41、0.38、0.25であった。

感染性胃腸炎は前週比4%増の383例で、大阪市南部3.50、南河内3.44、中河内2.40、大阪市西部2.00、三島 1.88である。

ヘルパンギーナは78%増の80例で、泉州1.60、大阪市南部0.72、南河内0.44であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%減の74例で、北河内0.73、南河内0.69、中河内0.45である。

流行性角結膜炎は44%増の13例で、泉州0.67、南河内・大阪市西部0.50であった。

第6位の咽頭結膜熱は39%減の35例で、定点あたり報告数は0.18であり、中河内0.40、大阪市南部0.39、北河内0.23であった。

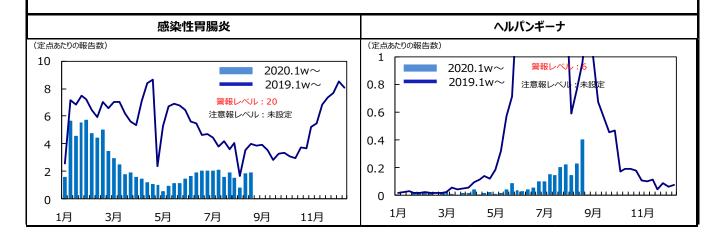


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向(2020年 第35週8月24日~8月30日)

第35週 の順位	第34週 の順位	感染症	2020年 第35週の 定点あたり 報告数	前週比増減	2019年 第35週の 定点あたり 報告数	2020年第35週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	1.95	4%増	4.01	1歳_16%
2	2	突発性発しん	0.48	3%増	0.51	1歳_57%
3	5	ヘルパンギーナ	0.41	78%増	0.96	1歳_38%
4	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	4%減	1.50	4歳_20%
5	6	流行性角結膜炎	0.25	44%増	0.54	20歳以上_85%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第35週のコメント

~ボツリヌス症~ 大阪府では、2011年以来今年2例の報告がありました

全数把握感染症

ボツリヌス症

ボツリヌス症は、ボツリヌス菌 (Clostridium botulinum) が産生する毒素によって起こる全身の神経、筋の麻痺性疾患である。ボツリヌス毒素はコリン作動性神経末端からのアセチルコリンの放出を抑制し、神経から筋肉への伝達が障害され、麻痺に至る。原因食品を摂取してから、6時間から10日間、通常18時間から48時間で発症する。典型的な臨床症状は、眼瞼下垂、複視、嚥下障害、構音障害等の脳神経障害であり、進行すると、咽頭筋の麻痺による気道閉塞と、横隔膜および呼吸筋における麻痺(呼吸機能障害)をきたす。ボツリヌス症が強く疑われた場合は、乾燥ボツリヌスウマ抗毒素により治療する。特に、生後1年未満の乳児がボツリヌス菌芽胞を経口摂取した場合、消化管内で増殖した菌の産生したボツリヌス毒素により発症することがあるので注

<u>感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)</u> _ ボツリヌス症(国立感染症研究所)

意が必要である(乳児ボツリヌス症)。

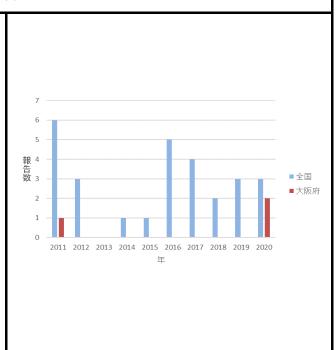


表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第35週8月24日~8月30日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ> 【週報】発生動向調査> 全数報告 をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊 能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	報告 数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	1		2		1		1	1	93
4 類感染症	ボツリヌス症	1	1								2
4 規念未址	レジオネラ症(肺炎型)	1			1						71
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4				1		1		2	92
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	1								1	83
3 規恩采進	水痘(入院例)	1								1	7
	梅毒	7	1		1	1	1			3	610
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	650 8,491									
結核	結核 新登録患者数: 67名 (内 肺·喀痰塗抹陽性 29名) (府内累積報告数 640名、内 肺·喀痰塗抹陽性 239名)									29名)	
(2020年6月分)										239名)	

(2020年9月1日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、8月24日から8月30日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。

詳細はリンク先の情報をご覧ください。